



INGING MOTORSPORT



INGING NEWS PAPER

INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [http://www.inging.co.jp] インギングニューズペーパー



石浦選手、 2位表彰台!

手に汗握るレース展開となった第2戦、
堅実なレース運びで2位表彰台獲得!



Race Report

Round.2 OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT 5/28 Final

決勝 2017年5月28日 岡山国際サーキット



TAKE FREE

NEXT RACE ROUND.3 FUJI SPEEDWAY 7/8.9

Support by cyber net

堅実なレース運びを展開し、石浦選手が2位表彰台!!

Race Report

決勝 2017年5月28日 岡山国際サーキット
Round.2 OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT 5/28 Final

天候:晴れ | コース状況:ドライ | Time [1:09'03.383] / Best [1'15.772]

前日に行われた30周スプリント勝負のレース1から一転、レース2は周回数51周に増えたほか、タイヤ4本の変換が義務付けとなった。レース1でのマンソンの状況を見直し、チームは午前9時20分からの予選に挑む。レース2の予選はQ1-Q2の2セッションによるノックアウト方式で20分のQ1で全19台から10台に絞られる。レース1の予選では19台が一気にタイムアタックになれ込んだことで、各所でラフコンが発生し満足いく走りができなかったため、アタックに入るタイミングや前後のマンソとのギャップを考えながらコースイン、しかしタイヤのウォームアップを終えてアタックに入ろうとしたその時に、他のマンソンがコースアウトしたことで赤旗が掲示され、残り時間2分を切ったところでセッションは中断となってしまった。コースインラップを考慮し、残り時間が2分30秒に延長されたセッションは再開。2番目にコースインしていった石浦は最終ラップで1分14秒907というタイム、コントロールラインを通過した時点で10分間争われたQ2では石浦は先頭でコースイン、他のマンソとの間隔をコントロールしながらアタック入ると、最終ラップで本日唯一の1分13秒台となる1分13秒918をマークし、得点とする岡山で今シーズン初のポールポジションを獲得した。決勝レースは午後2時25分にスタート、ポールスターの石浦はわずかにホイールピンが多数脱落の集団に飲み込まれそうだったが、1コーナーまでの巧みな位置取りなどでトップに立ちあがり、一方の車本は後部のスタートで8番手あたりまでポジションアップしたが、集団の中でペースが乱れるのを避けてオープンクラップを粘るとして車務付けられているピット作業を消化、他にも7台ほどが一気にピットになれ込んだこともあり、ピットアウト後は13番手に戻って改めて追い上げ始めることになったものの、チームの迅速なピット作業が功を奏し上位陣がピット作業へ入るたびにポジションアップ、38周目には9番手となり、ポイント獲得まであとわずかに迫ったところで、色車のアクシデントによりセーフティカーが入ることに、42周目を迎える場面がオーバーテイクのチャンスだったが、ここでこの日はわずかにペースアップを受けた。惜しくもポイント獲得はならなかったが、9位に順位を上げてレースを終えた。オープンクラップの混乱の中でトップをキープした石浦は、他のマンソンを乱れることなく快走を続けた。序盤にタイヤ交換を済ませたマンソとの間隔を測りながら、34周目にピットイン、1台にかわされたが2番手でコースに復帰した。復帰直後、タイヤが温まるまでは3番手のマンソンに追られたが、これを見事にブロックしてポジションを死守、タイヤが温まるまでは3番手を引き離し、ファステストラップを連発する勢いでトップを走るマンソンに追いついていった。セーフティカーが入った後のリスターからペースを上げて、その差が1秒を切るころまでタイヤの消耗が進んでいる相手のマンソンを攻め立てる。残り3周のところではコーナーで並びかけるほどの接近戦となったが、決定的なチャンスを作らずにフィニッシュ、ポジションは下げることはなかったが、白熱したレース展開をみせ堂々と2位表彰台を獲得した。

No.1 国本 雄資 / Y.Kunimoto



「予選は赤旗の影響もありましたが、全体的にクラップが少なく、パフォーマンスも少し良かったかなと思います。スタートでは3つか4つくらいクラップが上がりましたが、集団の中ではなくスペースのある位置で走り抜けたので大丈夫でした。スタートはいい走りでしたが、100%のパフォーマンスはできていないと感じています。予選はクラップが多かったため、100%のパフォーマンスはできていないと感じています。予選はクラップが多かったため、100%のパフォーマンスはできていないと感じています。予選はクラップが多かったため、100%のパフォーマンスはできていないと感じています。」

No.2 石浦 宏明 / H.Ishiura



「今日は非常にいい走りでした。昨日からクルマもアジャストして、それが無難な形でQ1-Q2とQ3にいいタイムを出し、決勝でもいい走りでした。100%のパフォーマンスはできていないと感じています。予選はクラップが多かったため、100%のパフォーマンスはできていないと感じています。予選はクラップが多かったため、100%のパフォーマンスはできていないと感じています。予選はクラップが多かったため、100%のパフォーマンスはできていないと感じています。」

監督 立川 祐路 / Y.Tachikawa



「石浦は、まずは予選がうまくいきましたね。昨日からクルマもアジャストして、それが無難な形でQ1-Q2とQ3にいいタイムを出し、決勝でもいい走りでした。100%のパフォーマンスはできていないと感じています。予選はクラップが多かったため、100%のパフォーマンスはできていないと感じています。予選はクラップが多かったため、100%のパフォーマンスはできていないと感じています。」

総監督 浜島 裕英 / H.Hamashima



「非常に結果になりましたが、今日は岡山選手のパフォーマンスが良かったですね。最初の走りも非常に良かったです。決勝でもいい走りでした。100%のパフォーマンスはできていないと感じています。予選はクラップが多かったため、100%のパフォーマンスはできていないと感じています。」

